ま　え　が　き

平成 19 年度学生生活実態調査報告書を刊行いたしました。

この報告書は、平成 19 年 11 月から 12 月までに実施した調査を統計的に処理して分析し、その結果を概要や基礎集計表・グラフとしてまとめたものです。

学生生活実態調査の目的は、本学学生の生活実態を的確に把握して、正課教育及び正課外教育の状況、課外活動やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎資料を収集することであり、学生の生活や教学面をサポートするための施策を迅速に立案実施するためには欠かせないものであります。

今回の調査では、日本私立大学連盟（以下「私大連」という。）が、全国の加盟大学 126 校を対象に 4 年周期で実施している「学生生活実態調査」に内容を合わせております。この結果、本学の学生のみならず、今日のわが国における私立大学の学生像を把握できるものとなったと考えております。

本学の学生生活実態調査は、昭和 30 年度に実施した第 1 回調査以来、調査票返送による郵送方式をとってまいりましたが、平成 17 年度からインターネットを利用したウェブ調査に変更いたしました。昨今のインターネットやパソコンの普及に加えて、本学が平成 16 年度から履修登録方法としてウェブ履修システムを導入したことなど環境条件は満たされたという判断を行った結果であります。幸いなことに今回のウェブ調査による回答率は前回調査（平成 17 年度実施）に比べて大差ない状態でありました。各種調査においてウェブ調査を活用することの目処が立ったようにも考えられます。

社会のグローバル化や情報技術の急速な進歩によって、学生の生活実態は多様化し、大きく変化しているように思われます。しかし別の面では旧態依然としているところもあります。本調査ではそのような学生の多様な側面を引き出すことを目的として私大連の質問に加え、本学独自の種々の項目を設定いたしました。ただし、本調査のみでは多様な学生の意識を判断できかねる面もあり、今後さらなる調査内容・方法を検討する必要性を痛感いたしております。

最後になりましたが、本調査に誠実に回答していただいた学生諸君のご協力に厚く感謝申し上げます。また報告書を作成するにあたり、ご協力をいただいた関係者各位に心より御礼申し上げます。

平成 20 年 9 月 30 日

関西大学　学生センター所長
笹　倉　淳　史